

サブリメント

西台中 保健だより
令和7年12月2日
保健室



この日は、世界的レベルにおいて、エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別や偏見をなくそう！と、人々に働きかける日です。

エイズについて正しく理解し、誤解や偏見をなくすことが、エイズ予防につながります。

今年のテーマは

「U=U 検出されない=性感染しない」 です。

エイズの治療は進歩しています。HIV陽性者は早期発見と治療により発症を防ぎ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが可能になりました。

治療を継続し、血液中のウイルス量が、検査で検出できない (Undetectable) 程度に、最低6ヶ月以上継続して抑えられていれば、性行為による感染もおこらない (Untransmittable) ことが確認されています。

しかし、このような正しい情報が世間に十分に伝わっておらず、今でも「有効な治療法がなく死にいたる病気」と認識されてしまいがちです。

それがエイズを恐れる人たちを検査や治療から遠ざけ、感染率の増加や差別・偏見を招く要因の一つになっています。

世界エイズデーは、HIVとエイズのことを考え、検査や治療・支援などの知識を身につける機会となります。そこから、エイズ患者への差別や偏見の解消につながっていきます。



Q エイズって何？

A HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することで、病原体から体を守る免疫細胞が減っていく、さまざまな病気を発症した状態です。



Q どうやって感染するの？

A 最も多いのは性行為です。精液や膣分泌液に含まれるHIVから感染します。コンドームを使わないといと感染確率が上がるといわれています。

Q 「感染したかも…」と思ったら？

A 保健所で無料・匿名で検査を受けられます。心配なときは受けてみましょう。

Q もしも感染したら？

A 薬でHIVの増殖を抑えてエイズの発症を防げば、健康な人と変わらない生活ができます。検査で早期発見し、エイズ発症前に治療を受けることが大切です。



日本の変わらない現状

エイズ患者は2年連続で増加！

危険

厚生労働省の調査によると、2024年の新規HIV感染者数は667件でした。

新規HIV感染者は20歳代が多く、15~19歳の感染も報告されています。

エイズ患者数だけで見ると、日本は先進国内でも多い国となっています。

これらはエイズについての知識のなさ・偏見・意識の低さがまねいている可能性があります。

HIV検査は、全国各地の保健所で、無料と匿名で受けることができます。

HIV こんなことではうついません



握手



便座



同じ物を食べる



タオルの共用

タオルの共用は、エイズの感染経路にはなりませんが、インフルエンザやコロナなどの感染症では感染経路になる可能性があります。

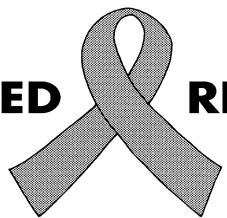
タオルやハンカチなど、自分の肌に触れるものは、自分で用意したものを使うようにしましょう。また、清潔を意識することも大切です。

正しい知識をもつことは、自分を守る「**知恵の鎧**」となります。



お風呂

♥RED RIBBON を知っていますか？



「レッドリボン」はエイズに関する理解と支援のシンボルです。
HIV感染者やその家族に対し、偏見や差別をせず、エイズ予防に前向きな印です。
レッドリボンは“**思いやりの証し**”とよばれます。
みなさんのこころにも、レッドリボンを飾りましょう。



HIVについてもっと知りたい人は・・・

API-Net（エイズ予防情報ネット）

厚生労働省のホームページからも入れます。

- ・世界エイズデーについて
- ・キャンペーンポスター
- ・世界エイズデーイベント「レッドリボンライブ 2025」
～HIVとエイズ 愛と絆の 20 年～

